

# 三期十二年の政策評価と課題は

## 活力あるまちづくりの主眼を



小野 光夫 議員

町長として三期十二年が経とうとしている。議会もいろいろな政策提言をしてきた。また、町長も実施されてきたと思うが、評価と課題を問う。

### 行財政改革と 定住人口増

町長

三位一体改革に伴う行政改革を実施財政のスリム化を進め保育所、給食センターの民間移管をし、野方インターチェンジの設置、ビーチスポーツ、スポーツ合宿の誘致等、大崎町の知名度を上げ、交流人口増を図った。また、福祉政策や、企業

県当局と協議の結果、農地法の規定に基づき法的手続きも早期に完了する見込みがあったため、実施計画を見送った。今後インターチェンジ着工を待つて、手続きを進め企業団地として公に情報提供出来ると思う。

### 立地企業のアプローチはあるか。

小野光夫議員

当初の計画では、25年度造成する事になっていた。計画を進めながら、企業誘致をされていると思うが、アプローチはあ

### 数社の企業に現地案内をしている。

町長

現地案内の結果、興味を持たれる企業もある。幅広い業種にわたり企業誘致活動を展開して行く。

### ドクターヘリの運用状況は

小野光夫議員

平成23年2月から運用

され緊急時、ドクターの要請で活用される。本町の運用状況を問う。

### 4回の出勤があった

町長

これまで4回の出勤があり、交通事故、労働災害が1件づつ、一般負傷2件である。

### 緊急着陸地点を増設すべきである。

小野光夫議員

緊急着陸地点は県内で771カ所と聞いている。本町の着陸地点はどこか。また、増設出来ないか。

### 町内7ヶ所を指定

町長

本町では安全に離着陸できる大崎町研修センター・ふれあいの里公園・持留地区農業構造改善センター・中沖公民分館グランド・野方分館運動場・大丸運動公園・菱田農業環境改善センターであり、増設については、消防署と協議をしていく。

2012年人口調査の結果と施策について

小野光夫議員

2012年年齢別統計人口調査が発表され、本町は43市町村中19位であり、高齢化率33.3%、14歳以下の年少人口11.6%大変厳しい結果である。評価と施策について問う。

### 厳しいところに直面している。

町長

高齢化率も年々増加している。年少人口率が県内32番目で大変厳しい結果だ。いろいろとそれに向けた取り組みを実施してきたが、数字の上で表れていない。若者が定住できる政策を情報発信し、実施して行く。